

7-1 駅西口周辺地区整備に向けた進め方

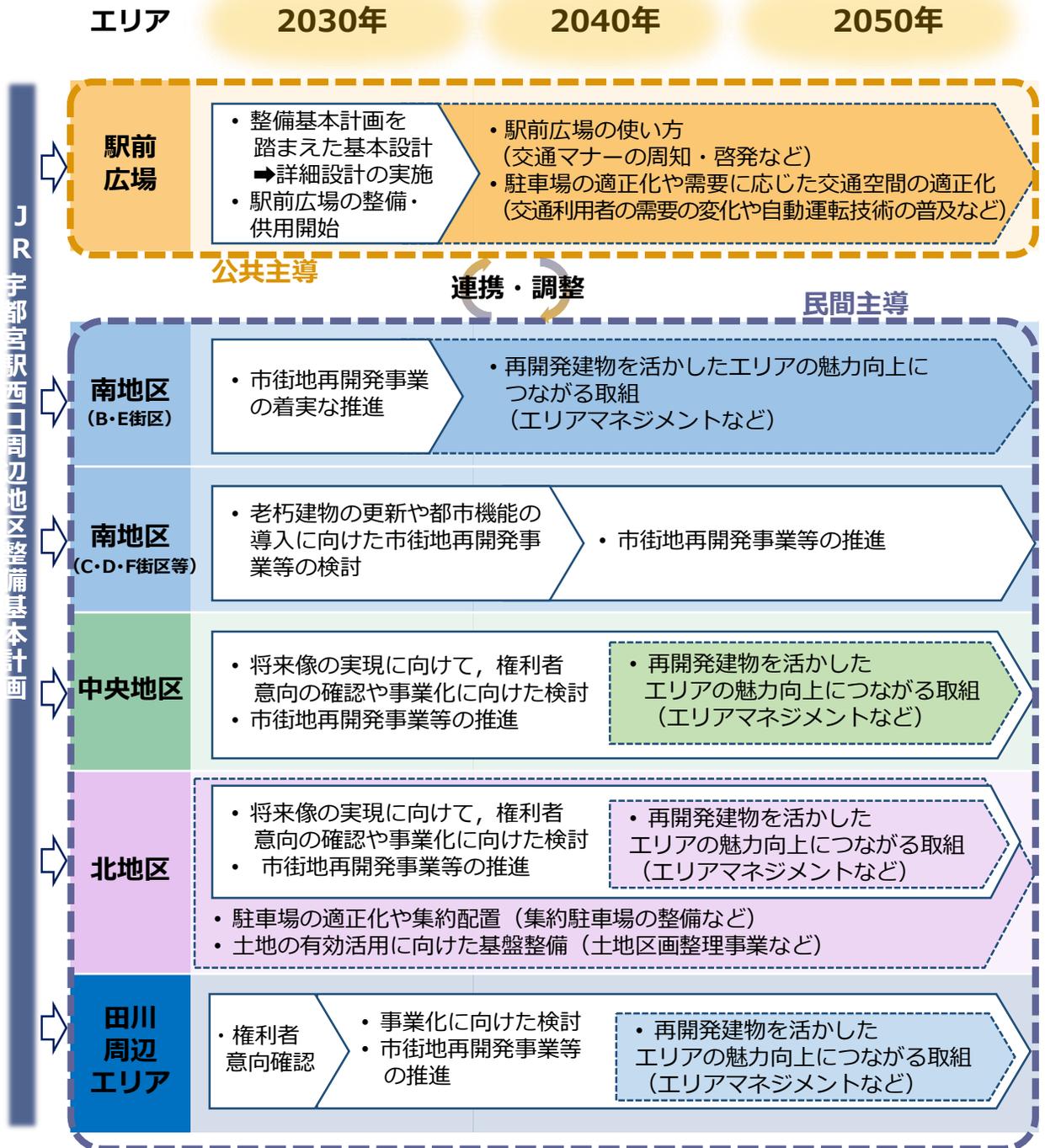


図7.1 駅西口周辺地区整備に向けたロードマップ

7-2 事業推進に向けて

- 官民が一体となって将来像を実現していくため、基本計画を踏まえながら、ライトラインと一体となった駅前広場の施設配置や動線計画などについて、交通事業者や交通管理者、栃木県などの関係機関と十分に連携・調整を図りながら取り組むとともに、周辺街区における市街地再開発事業などについて、地元権利者の合意形成や民間事業者との密な連携・調整のもと取り組んでいきます。
- 実施に当たっては、官民が同じ方向を向いて整備を推進していく必要があるため、引き続き外部懇談会などを設置し、学識経験者や地元住民の代表者などの意見も伺いながら、これまで以上に官民一体となって取り組んでいきます。
- 駅西口周辺地区は既存市街地において、市街地再開発事業や交通基盤施設整備などを行うものであり、長期的な視点も必要であることから、広場整備や民間開発などの各事業の進捗状況や社会状況の進展などを踏まえながら、まちづくりに取り組んでいきます。

■ 推進体制

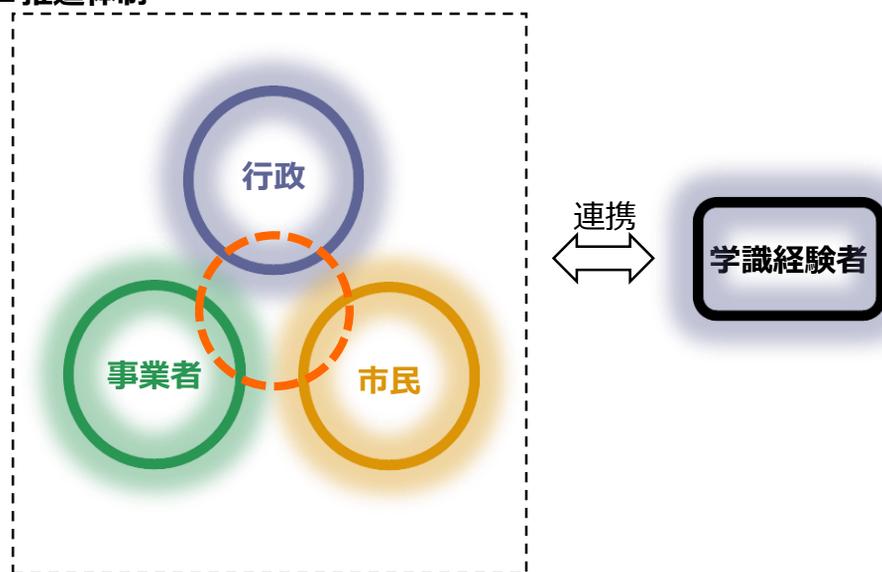


図7.2 推進体制

7-3 駅西口周辺地区整備に向けた市民・事業者・行政の役割

- 駅西口周辺地区整備や将来像の実現に向けては、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を担い、協力し合いながら事業を推進することが不可欠です。

市民の役割①

まちをつくる (主に地権者など)

- ・ 将来像に応じて、にぎわい、憩い、交流空間創出等への協力と、統一感のある景観の創出、建て替え時等におけるオープンスペースの確保
- ・ 開発による新たな住民コミュニティとの融合

市民の役割②

まちを使う・育てる (主に居住者・就業者・学生など)

- ・ 駅前広場等の新たな公共空間の積極的な活用やにぎわいづくりへの参画
- ・ ライトライン、バス、タクシーなどの公共交通の積極的な利用

事業者の役割①

まちをつくる (主にデベロッパーなど)

- ・ 地区に適した手法(再開発等)による、駅周辺にふさわしい機能導入、機能集積につながる事業の提案・実施
- ・ 公共空間と連携した豊かなオープンスペースの創出と県都の玄関口にふさわしい景観形成の実現

事業者の役割②

サービスをつくる・アップデートする (交通事業者、各種サービス事業者)

- ・ 鉄道、バス、タクシー、ライトライン事業者等が協力し、交通結節拠点における円滑でシームレスな公共交通サービスの提供
- ・ ICT等の新技術の導入などを通じた新たなサービスの提案・創出、合わせて更なる空間の有効活用による段階的な人中心のまちづくりへの協力

市民

まちをつくる
まちを使う・育てる

事業者

まちをつくる
サービスをつくる・
アップデートする

地域のニーズに合った
まちづくりの推進

駅西口周辺地区の
更なる活性化

市民のニーズに即した
地域課題解決

良好な都市空間形成
持続的な地域づくり

行政

市民、事業者を支える
基盤をつくる・ルールをつくる

行政の役割①
基盤を作る

- ・ 駅前における公共交通の利便性を高める交通結節拠点の基盤整備
- ・ 人々が集い、憩えるとともににぎわいを生む駅前広場と周辺街区へつながる歩行者動線の整備

行政の役割②
ルールをつくる

- ・ 県都の玄関口にふさわしい駅西口周辺地区における景観形成に資するルールの策定
- ・ 駐車場適正配置の誘導・推進
- ・ 都市計画制度等の規制誘導手法を活用したまちの機能誘導や公共空間の利活用の推進

行政の役割③
事業者を支える

- ・ 駅と民間街区の連携した整備を推進する民間開発事業に対する支援
- ・ 駅周辺の魅力向上に向けたエリアマネジメント組織などの設立支援

図7.3 駅西口地区活性化に向けた連携・協力体制のイメージ